

「ほんわ館」ってどんなところ？



「ほんわ館」はどんな図書館なのか、オープニングイベントに来てくれたお友達と一緒に探検してみましょう！

空中図書

子どもたちに大人気の空中図書。秘密基地のような空間は子どもだけでなく大人もわくわくしてしまうのではないのでしょうか。

靴を脱いで入ってね！



空中図書への階段



新聞・雑誌コーナー

一般図書のほか、各新聞・雑誌も豊富に用意されています。児童書架に目が届くので、付き添いのお父さん、お母さんも安心してご利用いただけます。



児童書架

児童書架には約9,000冊の絵本や紙芝居などが用意されています。どの絵本にしようか迷ってしまいますね。

こんなに大きい本もあります



飲食コーナー

入り口脇には飲食コーナーが用意されています。たくさん本を読んでお腹がすいたら、ここで休憩しましょう。

「ほんわ館」では、他にもこんなことができます。

- 静読室では、静かな環境で読書を楽しむことができます。
- 和室を授乳室として利用できるほか、高齢者や障がいのある方も利用できるように、エレベーターや多目的トイレが設置されています。
- 座敷コーナーでは、靴を脱いでゆったりと本を読むことができます。
- 2階には学習室や研修室があり、研修室はグループで利用することができます。

「ほんわ館」はこんなところ

今回の探検で「ほんわ館」は子どもから大人まで、どなたでも楽しめる図書館だということがわかりました。「ほんわ館」の魅力はこのページでは紹介しきれません。ぜひ町立図書館「ほんわ館」をご利用ください！

贈り物ありがとうございます

「ほんわ館」オープンを記念して東京中山会から100万円の寄付金、高橋和夫さんから書「焚香讀書」と飯野設計事務所から掛け時計3個の寄贈、ソロプチニスト山辺から手作り石けん100個をいただきました。

※お問い合わせ先 教育委員会教育課生涯学習グループ（中央公民館内） TEL 662-2235



4月30日 町立図書館「ほんわ館」オープン！

このマークは児童図書スペースの形を圖案化したもので、赤は空中図書、黄色は読み聞かせコーナー、紫はベンチを表しています。



表彰を受ける樋口さん

【開館式典】
開館式典では、大津町長が「いつでも誰でも気軽に利用できる町民の居場所となる開かれた施設として、図書館サービスの充実を図るとともに、インターネットによる図書の検索や予約もできるようにしました。誰もが気軽に利用できる親しみのある図書館となっておりますので、多くの方の利用を期待しています」と挨拶。また、図書館愛称の入選作品の授賞式が行われ、アイデアが採用された樋口美弥子さんのほか、佳作に選ばれた5名の皆さんが表彰されました。

【オープニングイベント】
「ほんわ館」オープンを記念して、絵本作家のサイン色紙展等の各種イベントが行われました。イベントの目玉である記念講演には、絵本作家のとよたかずひこさんが登場。「ほんわ館で遊ぼう！ももんちゃんといっしょ」という演題で講演を行いました。
講演の中で、とよたさんは子育てにおける絵本の読み聞かせの大切さについて話され、実際にご自身の作品である『ももんちゃん』シリーズをはじめとした絵本の読み聞かせを披露しました。会場に訪れた子どもたちは大喜び。お父さん、お母さんは読み聞かせのポイントを学んでいました。講演会後は、絵本の販売やサイン会も開催され賑やかなイベントとなりました。



絵本作家のとよたかずひこさん

図書館記念日とされている4月30日、町立図書館「ほんわ館」がオープンしました。「ほんわ館」という名前には「本を囲んで和ができてほしい」「図書館を中心として人々のつながりの輪が広がってほしい」「ほんわか」と温かい気持ちになってほしい」という願いが込められています。